

医療の質・安全学会 第4回学術集会のお知らせ

診療所開業支援研究会 会員のみなさま

拝啓 晩秋の候、会員の皆様にはますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。
平素はいろいろとお世話になり感謝致します。

さて、私が医療の安全コンサルタントとして活動する中で、今一番注力しております医療の質・安全学会より、本日に第4回学術集会の大会長から下記のご案内と広報用ポスターが届きましたので、診療所開業支援研究会会員のみなさまにご連絡させていただきます。

当学会は、更なる医療の質の向上と医療の安全をより担保するために、医学界だけでなく他の多くの産業界からも専門家が参加し、まさに学際的な活動を展開する学会であります。もちろん、日々医療に携わる者にとっても大変有意義な学会であります。ご都合がつけば、是非ご参加頂ければと存じます。

会期 2009年11月21日(土)～23日(月・祝)

会場 東京ビッグサイト

大会長あいさつ 別紙
広報用ポスター 別紙

敬具

ヘルスケアセーフティガードマン研究所 高原和男

第4回学術集会の大会長よりのご連絡

医療の質・安全学会 会員の皆様:

本学会の学術集会が近づいてまいりました。
大会長あいさつおよび広報用ポスターを添付いたしますので、ご関係のメーリングリストなどに転送していただき、参加をよびかけていただければ幸いです。

医療の質・安全学会 第4回学術集会
大会長 大阪大学大学院医学系研究科医療情報学講座教授 武田 裕

医療の質・安全学会 学術集会参加へのお願い

医療の質・安全学会 第4回学術集会

大会長挨拶：医療安全学の構築を目指して—実践からD0のサイエンスを—

大阪大学大学院医学系研究科医療情報学講座教授 武田 裕

振り返ると、1999年は、重大な医療過誤を契機に、わが国の医療安全の取り組みが本格的に始まった年といえます。時をほぼ同じくして米国では、Institute of Medicineによる”To Err is Human”報告が公表され、海外でも国をあげての行動が開始されました。それから10年が経過しました。確かに各医療機関では、医療安全管理体制が整備され、医療現場からのヒヤリ・ハット報告は重大な医療事故の防止に役立っています。また、予期せぬ死亡・合併症等に対する院内でのピア・レビュー（同僚審査）は機能し、医療の透明性と説明性はかなり確保されてきました。また、重大な過失による医療事故への対応も、相当な改善がなされています。これらの基盤となる医療安全文化が、わが国の医療に定着してきたことは、この10年間の大きな成果と言えます。

一方で、諸外国に比して、**医療の質の管理については、今後の大きな課題として残っています。質向上のための具体的な行動目標も不明確**で、かつ医療安全に従事する人的、部的、資金的な現状では、さらに質向上のための余力はないというのが、わが国の現状ではないでしょうか？

今回の医療の質・安全学会の学術集会は、これからの10年の目標を真剣に考える場となることを希望しています。まずは、**医療を担う人材養成に医療安全に関する知識・技術が習得されねばなりません**。具体的には医学・看護学・薬学などの卒前・卒後教育の一環として、医療安全や質的管理が正式な授業科目として組み込まれることが必要です。すでにWHOが医学教育のコアカリキュラムを提唱していますが、わが国としても、積極的に教育・研修を実践することが求められています。そのためには、**医療安全学という学問体系を構築して、教育者・研究者を育成することが必要条件**です。

私は、長年医療情報学を基礎に、「医療の科学」（D0のサイエンスとも称しています）の体系化を目指してきました。**学際的、職種横断的、実践的**という「D0のサイエンス」の特質は、医療安全学という新しい学問にこそ具現化されるべきであると期待をもって本学術集會を企画・運営しています。是非、これからの医療安全学を構築する基礎となる発表や討議、知識・技術などを共有する多彩なプログラムにご参加いただきたく存じます。

学術プログラムには、多くのシンポジウム、教育講演、一般口演に加えて、ポスター発表を重視しました。また、企業の方々からの情報発信の場として、企業展示の場を確保し、同じフロアでポスター発表や交流会が開催されるように企画しています。特別講演には、大阪大学柳田敏雄教授による**「グリーンメディスン」という新しいパラダイムの講演**も予定されています。運営面において、仲間どうしの交流を支援するために、情報交換会（懇親会）を無料にする工夫もしてみました。

今後の医療安全のための新たな10年の幕開けの一つである本学術集會にご参加いただき、医療安全の科学化、医療現場でのインテリジェンス化を担っていただくことを強く希望します。